

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	パイルキャップ構造設計法検討小委員会	主 査 名：塩原 等 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)	委員長名：中島正愛 主 査 名：壁谷沢寿海
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鉄筋コンクリート基礎構造の耐震設計法を「鉄筋コンクリート基礎構造部材の耐震設計指針・同解説」の形でまとめることを目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2007 年度：既往文献の収集及び検討 ・ 2008 年度：課題の抽出と検討 ・ 2009 年度：基礎構造部材における応力伝達機構と設計法の検討 ・ 2010 年度：基礎構造部材の構造設計法の提案・最終報告書の作成 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：若干名</p> <p>塩原等 (東京大学)、飯塚正義 (プレハブ建築協会)、小室努 (大成建設)、井川望 (鴻池組)、和泉信之 (千葉大学)、井上芳生 (UR リンケージ)、(梅村美孝 (安藤建設)、中西啓二 (清水建設)、小林勝己 (フジタ)、小林恒一 (独立行政法人原子力安全基盤機構)、高野公寿 (JFE テクノリサーチ)、平出務 (独立行政法人建築研究所)、宮田章 (鹿島建設)、米澤健次 (大林組)、鈴木康嗣 (鹿島建設)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>設計例作成 WG：指針原案に基づいた設計例の作成を行う。</p> <p>指針案検討 WG：指針原案の作成・検討を行う。</p>	
2010 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 http://seismic.t.u-tokyo.ac.jp/users/RC2008-002/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	PD「鉄筋コンクリート基礎構造部材の耐震設計」 参加者数 300 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「鉄筋コンクリート基礎構造部材の耐震設計指針・同解説」の本文原案を作成した。 2. 解説・設計例・付録は検討中。
委員会活動の問題点 ・ 課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「鉄筋コンクリート基礎構造部材の耐震設計指針・同解説」の設計例・解説を作成作業を継続する必要がある。 2. 基礎構造運営委員会委員との調整の必要がある。